

子どものからだと心・連絡会議

The National Network of Physical and Mental Health in Japanese Children

Nippon Sport Science University, Department of Health Promotion and Physical Education in School
7-1-1, Fukasawa, Setagaya-ku, Tokyo 158-8508, Japan Phone&Fax.: +81-3-5706-1543

2015年9月吉日

関係各位

子どものからだと心・連絡会議

『第37回 子どものからだと心・全国研究会議』開催のお知らせ

拝啓 秋晴の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さてこの度、私ども「子どものからだと心・連絡会議」が主催する『第37回 子どものからだと心・全国研究会議』が別紙要項の通りに開催される運びとなりました。

“子どものからだと心”のおかしさを追求して30余年、その解決の糸口を見つけるために発足した本全国研究会議では、各地での取り組みの結果をもちよって有効な方法を検討する“団体研究法”で研究協議を進めてまいりました。

そこで本年も、私たち「子どものからだと心・連絡会議」では、「第37回子どものからだと心・全国研究会議」を下記のごとく企画いたしました。

本年の「特別講演」は、友田明美氏（福井大学子どものこころの発達研究センターAge2企画部門・教授）に「いま、子どもの心の育ちを考える！～被虐待児、発達障がい児の脳科学～」をテーマにお話しいただく予定です。アメリカの精神科医ジュディス・ハーマン氏は、著書『心的外傷と回復』で虐待を受けている子どもの多くが「警戒的過覚醒状態」にあり、「よい子にしていること」を強いられ、「睡眠と覚醒、食事、排泄などの正常な周期の乱れ」を呈すると分析しています。つまり、日本の多くの子どもたちのからだは、この子どもたちと同じ身体症状を呈しているとも解釈できるのです。そのような中、友田氏は被虐待児や発達障がい児だけでなく、多くの子どもの理解に役立つ解説をしてくださることと思います。

さらに、「特別報告」では、昨年度に実施された「子どものからだの調査2015」の結果を報告いたします。1978年から、5年ごとに実施している調査ですが、今回も子どもの“変化”を十分に示す証拠となるのではないのでしょうか。また、例年通り、指定報告や一般報告（ポスター発表）、なども企画いたしました。本研究会議を通して子どもたちを元気にする方法を学び、子どもも大人も笑顔で希望がもてる社会づくりの一助となればと願っております。どうぞご期待ください。

つきましては、『第37回 子どものからだと心・全国研究会議』を貴誌あるいは貴番組においてお広めいただければ幸いに存じます。不躰なお願いで恐縮に存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

また、当日の全国研究会議について取材をご希望される場合は、あらかじめ事務局までご連絡ください。参加につきましては無料とさせていただきます。

末筆ながら、貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

《お問合せ先》 第37回子どものからだと心・全国研究会議 事務局

大会実行委員長 下里 彩香

実行委員（広報） 富川 敬子，七戸 藍

〒158-8508 世田谷区深沢 7-1-1 日本体育大学 野井研究室気付

子どものからだと心・連絡会議事務局

Phone&Fax : 03-5706-1543, E-mail : karada_1979@yahoo.co.jp

URL : <http://kodomonokaradatokokoro.com/index.html>